

行政書士

しずおか

- ・平成23年度定時総会
- ・岸本新会長就任挨拶



平成23年6月3日 静岡県知事表敬訪問（静岡県庁知事室）
左から川勝平太静岡県知事、静岡県行政書士会 岸本敏和会長、静岡県行政書士政治連盟 奥山浩行会長



静岡県行政書士会

静岡県知事表敬訪問



平成23年 6 月 3 日(金) 川勝平太静岡県知事を表敬訪問しました。

静岡県行政書士会会長就任挨拶



静岡県行政書士会
会長 岸本 敏 和

行政書士法制定並びに静岡県行政書士会60周年という大きな節目の年に、第10代会長として就任させていただいたことは、これまでの書士会を牽引されてきた先輩・先達の方々に感謝すると同時にその与えられた使命と責任の重さを正に痛感しております。

これからの行政書士会並びに行政書士制度をどのように牽引していくか？どのように構築していくか？そしてそれを次の世代にどうバトンタッチしていくか？それが私に与えられた任務であると認識しております。

経済の低迷が長きに亘り続いております。そのことは私たち行政書士の事務所経営にとっても切実な問題であり、特に最近の難関な試験をパスして会員になられた方々にとっては、試験の難易度が高い割に、業務の確保が難しいことを痛感されていることかと思えます。

ここで行政書士の歴史を論ずるつもりはございませんが、行政書士という制度が他の資格制度のように官製のものではなく、国民のニーズによってできた制度であるということは、皆さんご承知の通りでございます。このことは言い換えれば、国民のニーズに応えることができれば存続していけないということなのです。私たちの職域確保・業務の拡充には、いかに国民のニーズを読み取れるかがたいへん重要な要素となります。それには、行政書士の視野だけで捉えることはできません。隣接士業をはじめとして様々な産業・職種とのパートナーシップが必要となります。隣接士業と職域争いをするのではなく、共に国民のニーズに答えていくための協働が必要であると痛感しております。行政書士という世界だけにとどまっていたは取り残されるのは必定でございます。広く視野を外に向けてアンテナを張り情報の収集と共にこちらからの情報発信も積極的に行なっていきたいと思えます。

また、私達行政書士には、当然の事ながら精度の高い知識とスキルの裏付けが要求されます。職域拡大を目指し、国民のニーズに応えるためには、たゆまない研鑽が必要になります。既存事業の変革、個人の価値観の変化、自由競争の到来と行政書士を取り巻く環境は、大変目まぐるしく変化してきており、十年一日のごとく過ごしていれば、たちどころに顧客から見放されてしまうことになります。知識武装・理論武装のできない行政書士は市場から消え去るのみであります。業務に関する知識・理論の確立は、もちろん会員皆様方の努力・研鑽が最大の要件ですが、定時総会においての立候補所信表明で申し上げましたように講習会の充実をこの2年間を掛けて図っていくつもりです。他の団体や組織から講師の依頼を受けるような会員を数多く輩出できるような会にさせたいと考えています。私自身も、この2年間皆様と共に勉強し研鑽を積んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に静岡県行政書士会は「先輩から後輩への預かりもの」と考え次の走者にタスキを渡すために精一杯走りきる所存でございます。明日から更なる60年を目指して、次の世代にタスキを渡すためにはじめの一步を踏み出します。しかし、私一人きりでは走れません。チーム静岡です。皆様と共に手をつなぎ走りきりたいと存じます。どうぞよろしくご支援を賜りますようお願い致します。

もうひとつ付加えますと本会運営に関しましては、正々の旗を掲げ、堂々の陣をひいて、透明性の高いまた風通しの良い組織作りを目指し、真っ向勝負で取組みたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

目 次

新会長就任挨拶	1
平成23年度静岡県行政書士会定時総会	
会長挨拶	3
ご来賓祝辞	4
ご来賓紹介	7
顕彰者紹介	7
写真コンクール入賞者・会報に投稿して下さった皆様	7
議事録	8
役員等選考委員会による会長選挙	9
平成23年度静岡県行政書士会政治連盟定期大会	10
議事録	11
静岡県行政書士会役員名簿・綱紀委員名簿	12
業務組織編成表	13
支部長・副支部長名簿	14
各委員会の紹介	16
平成23年度日本行政書士会連合会定時総会・第31回日本行政書士政治連盟定期大会	19
平成23年度 ソフトボール・グラウンドゴルフ大会	20
掲示板 写真コンクールのお知らせ	21
事務局夏休みのお知らせ	21
投 稿 川 柳	田方支部 山本 順平
会員の動静	22
会議議事記録 要約	
平成22年度第13回・第14回・第15回・第16回・第17回常任理事会	27
平成22年度第11回・第12回・第13回・第14回・第15回常任幹事会	36
平成22年度第4回・平成23年度第1回理事会	40
平成22年度第4回・平成23年度第1回幹事会	43
平成22年度第3回・第4回支部長協議会	44
平成22年度第3回・第4回分会長会議	50
会 務 録	52
編集室・編集後記	55
平成23年度会務日程表	裏表紙

平成23年度 静岡県行政書士会定時総会

会 長 挨 拶

静岡県行政書士会会長 堀内 昭次

若葉の美しいさわやかなこのよき日に、国際観光温泉と文化都市、熱海市において平成23年度静岡県行政書士会定時総会並びに静岡県行政書士政治連盟定期大会を開催するに当たり、一言御挨拶を申し上げます。

本日は静岡県知事初め、熱海市長、顧問であります衆議院議員、参議院議員の先生方、静岡県議会議員の先生方、また日本行政書士連合会会長並びに御来賓の皆様方におかれましては、公私ともに多忙の中御臨席を賜わり、心より厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

日ごろより、本会の運営につきましては関係各位を初め、会員の皆様には格別な御理解、御協力を賜りありがとうございます。また本年2月22日に行政書士法制定60周年、並びに静岡県行政書士会創立60周年記念式典を盛大に挙行することができましたことは、この上ない喜びであり、各界の関係各位の行政書士に対する絶え間ない御支援と御協力の賜物と、会員とともに感謝と敬意を表する次第でございます。

このたびの東日本大震災により、不幸にして亡くなられた方々に衷心より御冥福をお祈り申し上げますとともに、被災に遭われた皆様に心からのお見舞いと、一日も早い復旧と復興を願わずにはおられません。

本年度の定時総会は、被災者の皆様方の心情に御配慮し、例年の総会より規模は縮小したものの、開催することいたしました。

それに伴い、会場に設けた募金箱に寄せられた浄財に合わせて、総会費用の一部と、ソフトボール・グラウンドゴルフ大会の賞品代を日本赤十字社を通じ、被災地に送らせていただきます。ぜひ皆様の御理解と御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、私たちを取り巻く環境は、行財政改革が推進され、また高度情報社会の進展、少子高齢化・人口減少の到来等、いろいろ取りざたされておりますが、このたびの東日本大震災による被災地の復旧、復興支援、原発事故による電力不安や放射能問題で、国内経済情勢はますます厳しい状況になっております。

そのような中において、我々行政書士は社会経済の環境の変化と方向性を的確にとらえて、行政の円滑な手続に寄与し、街の身近な法律家・専門家として常に法令等を遵守し、職業倫理に徹し、法的・専門的知識の研鑽を重ねて、国民への利便性を高め、権利を擁護する責務を果たしていかなければなりません。

そして本日は、副会長の我妻和男会員と鈴木市代会員が多年にわたり、本会の役員として行政書士制度の発展に貢献された功績を称えられ、県知事表彰を受賞されます。心よりお祝い申し上げますとともに、会員の皆様方に御披露申し上げます。

さらに、静岡県行政書士会写真コンクール受賞者に記念品が贈呈されます。

また、昨年亡くなられた本会発展に寄与された先達の方々に、慎んで哀悼の意を表し、衷心より御冥福をお祈り申し上げます。

最後になりますが、本日の総会設営に御協力いただいております富士宮支部の皆様、及び関係役員の皆様に感謝申し上げますとともに、静岡県行政書士会のますますの発展と、御参会の皆様方のな一層の御活躍と御健勝を祈念いたしまして、定時総会の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

ご 来 賓 祝 辞

静岡県知事 川勝 平太 様

代読 静岡県経営管理部文書局長 山崎 章二 様

平成23年度静岡県行政書士会定時総会の開催に当たり、一言お祝いを申し上げます。

初めに、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、亡くなられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々の一日も早い復興をお祈りいたします。また、行政書士会として被災者支援のためにさまざまな取り組みをさせていただいていることに対し、深く感謝申し上げます。

本日は御来賓の方々を初め、多数の会員の皆様の御出席のもと、総会がこのように盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。皆様方には日ごろから県行政の推進に対しまして、御理解、御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

昭和26年の行政書士法施行から半世紀以上が経過しましたが、この間、貴会におかれましては会員数が約1,500人を超えるまでに発展し、全国でも有数の組織となりました。これもひとえに歴代の会長様初め、会員の皆様の御尽力の賜物と、改めて敬意を表する次第であります。

さて、私たちの富士山は日本の最高峰というばかりでなく、いにしえから山岳信仰の対象としてあがめられ、また芸術文化の源泉として愛され、清らかな水を恵んで生活、生命を育む神のごとく存在として尊ばれてまいりました。昨年の8月8日、私は念願の富士登山に挑み、神々しい景観の中で心の底から富士山を世界文化遺産に、その麓の地に「ふじのくに」をつくる、そして和の文明づくりに貢献したいという三つの思いを深く胸に刻んだ次第であります。

富士を仰ぐ本県は日本のほぼ中央に位置し、人類が創り上げた東西文明と、美しく豊かな自然とが調和し、「ふじのくに」と称するにふさわしい場の力が備わっています。住んでよし、訪れてよし、産んでよし、育ててよし、学んでよし、働いてよしの富国有徳の理想郷「ふじのくに」づくりを推進してまいります。

さらに、富士山静岡空港を玄関口として、海外周航先である東アジアを中心に友好的互惠を基本姿勢にして、地域間交流を繰り広げていくなど、分権時代の新しい外交の姿として地域外交を展開してまいります。

行政書士の皆様を取り巻く環境は、多様化する社会の中でIT化の推進、規制緩和、司法制度改革等により大きく変貌してきておりますが、行政書士の皆様にはこのような状況に的確に対応し、行政に関する手続の円滑な実施に寄与していただいております。

貴会におかれましても、平成19年4月に施行されましたADR法への対応といたしまして、ADRの業務を行うため、同法に基づく法務大臣の認証に向けて準備を進めるとともに、会員の皆様へのADRの周知に取り組んでいただいております。

また平成20年7月の改正行政書士法施行により、聴聞などの手続における代理業務が新たに業務に加えられ、行政書士の皆様の役割は一層重要なものとなりました。本年は行政書士法制定60周年、及び貴会の創立60周年の記念の年であります。会員の皆様におかれましては、今後も街の法律家として、県民の皆様と行政をつなぐサポート役を果たすとともに、県行政の円滑な執行に御協力を賜われますようお願い申し上げます。

最後に、静岡県行政書士会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

熱海市長 斎藤 栄 様

皆さん、おはようございます。ただいま御紹介いただきました熱海市長の斎藤 栄です。本日は静岡県行政書士会の総会が行われますことを心からお祝い申し上げます。そして県内津々浦々から、行政書士の皆様この温泉地熱海にお越しいただきましたことを深くお礼申し上げます。

私さまざまないろいろな総会、また行事に参加いたしますが、今日は中でもいつも以上に皆様の歓迎をしたい、そういう気持ちでいっぱいです。と言いますのは、先ほど会長の堀内様からお話がございました、今回の静岡県の行政書士会、その開催地をどこにするのか。今、経済的に大変厳しい静岡県の東部、それも熱海でやろうと、こういう意思決定をさせていただいたということは、本当に心からお礼を申し上げたいと思います。

3月11日の大震災の発生後、熱海市の経済はまさに壊滅的な状況にございました。特に計画停電、きょうは県内のすべての地域からいらっしゃっているとお聞きしておりますが、今回の計画停電は東京電力の所管である県の東部だけに行われました。中西部の方々には計画停電というのは実感がないかもしれませんが、このことによりまして、翌日の電力の送電があるかないかが、前の日の夕方にならなければわからないと、こういう状況であったわけです。

旅館産業はある意味予約産業でありますから、1カ月先のことがわからなければ、お客様は得られないわけで、3月にはキャンセル率が80%にも上る旅館・ホテルがたくさんございました。

そういう中で3月を過ごし4月になり、今回のゴールデンウィークになったわけですが、ゴールデンウィークはおかげさまで昨年以上に多くのお客様が来ることができました。これはひとえにこの熱海市が首都圏に非常に近接し、またこれまでは約49日間、国民の多くの皆様が自粛というムードをどうしてもお持ちにならざるを得なかった。それがようやく開放されたタイミングと重なったのではないかなと、私はそんなふうに感じております。

たくさんの観光地が今苦しんでいる中で、私は熱海市として今回の東北の復興に対して貢献できることが二つあるというふうに考えております。一つは、被災者の皆様の受け入れでございます。地震の発生から既にもう2カ月以上がたっているわけですが、まだ10万人の方々が避難所にいらっしゃると。そういう中で多くのホテル・旅館がそういった皆様を受け入れる準備がある。長期、短期、あるいはリフレッシュのトリップでも、いつでも受け入れる用意がございます。既にこれまで延べ500人を超える被災地の皆様をここでお迎えをしているわけですが、今後まだ仮設住宅が完了するまでに数カ月かかるというふうにお聞きしておりますので、そういった方々に積極的にこの温泉地を活用していただき、心と体を癒してもらいたい、そのように考えております。

もう一つは、この温泉地が被災地の物品を買うということです。特に福島県での放射線の風評被害によりまして、多くの農産物が影響を受けているわけですが、例えば6月上旬には、市内のある地域で特設市という形で岩手県の遠野の物産フェアをやる予定でございます。これからも少しずつそういう動きが今広まっておりますが、東北の物産、野菜に限らず、お米、お酒、そういったものをここで積極的に使うということが、東北の支援につながるというふうに思っております。

私はゴールデンウィークを迎えて、多くの方が、また多くの皆様が「がんばれニッポン」というキャッチフレーズでもって、東北の復興に尽力されているわけですが、私はあえて今たくさんの頑張れ、頑張れの中で、被災地の皆様も、また復興に従事する皆さんも、少し疲れているところがあるんじゃないかな。そういうときこそ、この温泉地熱海でもって心と体を癒していただきたい。そういう意味から「がんばれニッポン」に対しまして、「癒そうニッポン」ということを今熱海市のメッセージとして全国に発信をさせていただいております。

この温泉地熱海、きょうは冒頭に堀内会長からもお話がございました。今ちょうど若葉の季節というよりも、もう初夏の感じでございますが、1年を通して多くの皆様の心と体を癒す環境を提供することができます。これから6月になりますと、市内に初川という川が流れておりますが、この川の流れている川沿いにホテルを放し、ホテルの夕べというイベントもさせていただいております。また7月、8月は多くの週末にはほぼ毎日のように海上花火大会を上げさせていただいております。皆様、今日お越しになっていただいているこの後楽園ホテル、この正面で花火がまさに真っ正面に上がります。

また秋になりますとモミジ、日本で一番遅いモミジ、11月下旬まで、また12月にもモミジを楽しめます。また年を明けますと1月から3月にかけて熱海梅園の梅だけでなく、最近ではアタミザクラという早咲きの桜の植栽に力を入れています。こういった形で1年を通して皆様をお迎えしております。

最後になりましたが、静岡県行政書士会、昨年は60周年をお迎えになったというふうにお聞きしております。今後ますますの会の御発展、また皆様の御健勝、そして最後は市長からのお願いでございますが、ぜひ次回はプライベートで、御家族、お友だちでこの熱海へお越しいただければと思います。

本日のこの行政書士会が実りあるものになることを祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。きょうは皆様の御来熱本当に心から歓迎いたします。ありがとうございました。

静岡県司法書士会会長 早川 清人様 様

皆さん、こんにちは。ただいま御紹介頂きました静岡県司法書士会会長の早川でございます。

本日は平成23年度静岡県行政書士会の定時総会がこのような盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。また、平素は私ども司法書士会の会務運営並びに司法書士会員の執務に関しまして、多面に亘りご厚誼を賜

わっておりますことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、私、貴会定時総会式典での壇上に司法書士会会長として立たせて頂いて4回目ということになります。明日、私も静岡県司法書士会の定時総会が行われるわけでございますけれども、今回でちょうど私、会長職の任期が満了を迎えることとなります。つまり、あと2日間の会長生命ということになり、司法書士会の会長として大見栄えきってお話をさせて頂く機会は、おそらく今日が最後ということになるかと思えます。改めまして、このように挨拶させて頂く場を御提供下さいました堀内会長並びに執行部の皆様方に、深く感謝を申し上げる次第でございます。

私が、これまでに話しさせて頂いた内容は、いろいろな言い方を致してきましたが、実は、言っていたことはたった一つでありました。それは、法律職専門資格者団体が相互に連携を密にすることの重要性であり、それが市民のニーズであるということでした。

今、司会の方から御紹介頂いたように、静岡県専門事業者団体連絡協議会という団体がございます。これは、行政書士会さんをはじめとして私も司法書士会、そして、土地家屋調査士会さん、税理士会さん、建築士事務所協会さん、社会保険労務士会さん等々、専門資格者団体を構成員とする組織でございますけれども、現在、この協議会は比較的活発にいろいろな意見交換がなされています。会議の回数は少なく、協議時間もそんなに多くはないわけでございますけれども、ここで話し合われていることというのは、互いの資格者団体を知るうえで大変興味深いものとなっております。そして、執行にあたっている役員同士の人間関係が深まりますので、今、他の士業者団体が何を目指し活動を展開しているのかというところが理解できるわけでございます。

今は、行財政改革や司法制度改革他政権交代等の関係で、市民社会が目まぐるしく変化を繰り返す渦中にあり、一つの法律専門資格者のみが孤高の存在として市民に対して「いらっしゃい。」と言っている時代は、おそらくもう終わっているのではないかと思います。以前からワンストップサービスということは言われてきたわけでございますけれども、司法的な部分でのアクセスポイントは、一つでも多い方が良いわけございまして、例えば行政書士さんのところに相談にいらした方に「あっ、この部分は私も方でちゃんと対応させて頂きましょう。」で、「その部分につきましては税理士さんの方に私どもの方から連絡をとり、確認しておきましょう。」等の連携が密にできるということは大事なことでございます。市民サイドとして見れば、どこへ行っていいか分からないうえに、何を相談していいのか分からないという相談が非常に多いわけでございますから。

きちんとしたかたちで法律専門資格者団体が横の連携をしっかりとって、会員においては異業種間で重疊的に執務を補い合っているというところが、これ即ち「売り」になるわけございまして、静岡県内において、是非ともそのところをより高めていきたいという思いがあるわけでございます。これは、一人一人の会員の皆様方が意識を持って頂くということが、肝要であると理解しているところでございまして、今般私は司法書士会の会長職を退くわけでございますけれども、今後とも士業種間におけるこの関係をしっかりとったかたちで繋いでいて欲しいと願っています。そして、市民のためにあるべき法律専門資格者の姿というものを共に描いていきたいと思えます。よろしくご理解の程お願い致します。

先ほど申し上げたとおり、早いもので私が会長職に就任してから4年が経過しました。この間には、本当にいろいろなことがございました。最後の最後には3月11日の東日本大震災という大惨事があったわけございまして、今、日行連の会長さんの方からもお話があったとおり、いろいろな方法において士業者の復興支援活動が展開されているところでございます。私自身も今月の28日、29日の両日、法律相談の一相談員として、仙台の方へ派遣されることになっています。そのような活動を実施するときにも、やはり多面に亘る横の情報交換があれば、効率的な活動が期待されるものと考えます。震災復興の過程に沿って特別措置法令としての法律もどんどん制定されていくことが予想されるわけでございますので、その部分をお互いに情報共有して補っていくということも大事になってくるわけです。そのような意味においても重ねて協力をお願い致します。

私は士業者団体の代表ということで挨拶させて頂いたことから、皆様方にはお願いごとに終始してしまいましたけれども、本日のこの総会が今後の行政書士制度にとって実り大きなものでありますように、また、静岡県行政書士会が今後益々発展されること、そして、本日ご参集の会員の皆様方のご健勝を祈念致しまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。

ご来賓紹介

静岡県知事	川 勝 平 太 様	(代理 静岡県経営管理部文書局長 山崎章二様)
熱海市長	齊 藤 栄 様	
名誉会長	宮 本 達 夫 様	
衆議院議員顧問	渡 辺 周 様	(代理 秘書 増山敬一様)
衆議院議員顧問	細 野 豪 志 様	(代理 秘書 福田三恵様)
衆議院議員顧問	田 村 謙 治 様	(代理 秘書 井島英博様)
衆議院議員顧問	小 山 展 弘 様	(代理 秘書 伊藤 健様)
衆議院議員顧問	塩 谷 立 様	
衆議院議員顧問	大 口 善 徳 様	(代理 秘書 山中基司様)
衆議院議員顧問	城 内 実 様	
参議院議員顧問	榛 葉 賀津也 様	(代理 秘書 和田仁美様)
参議院議員顧問	藤 本 祐 司 様	(代理 秘書 鈴木岳幸様)
参議院議員顧問	牧 野 京 夫 様	(代理 秘書 鷺見正親様)
静岡県経営管理部文書局法務文書課主査	井 口 英 喜 様	
日本司法支援センター静岡地方事務所所長	中 村 光 央 様	(代理 副所長 伴 信彦様)
日本行政書士会連合会会長	北 山 孝 次 様	
静岡県社会保険労務士会会長	大 石 晴 久 様	
社団法人静岡県建築士事務所協会会長	立 道 幸 男 様	(代理 常務理事 石井好治様)
静岡県司法書士会会長	早 川 清 人 様	
社団法人静岡県宅地建物取引業協会会長	市 川 宜 克 様	(代理 副会長 櫻田芳宏様)
社団法人静岡県公共嘱託登記土地家屋調査士協会理事長	望 月 繁 和 様	
社団法人静岡県建築士会会長	西 山 昌 行 様	(代理 副会長 佐藤博行様)
静岡建通新聞社静岡支社長	吉 田 進 二 様	(代理 課長 前田直輝様)

顕彰者紹介

静岡県知事表彰「行政書士業務功労表彰」

鈴 木 市 代 会 員 (中遠支部)
我 妻 和 男 会 員 (静岡支部)

写真コンクール入選者

静岡県行政書士会会報《第15回平成22年度写真コンクール》

会長賞 竹 内 一 登 会 員 (西遠支部) 「秋海の静けさ」
入 賞 古 屋 初 男 会 員 (清水支部) 「富士山」
入 賞 佐 野 知 会 員 (富士宮支部) 「里の焼け渡り」
入 賞 野 中 房 代 会 員 (三島支部) 「語らい」
佳 作 高 桐 正 雄 会 員 (静岡支部) 「浅春陽光」
佳 作 佐 藤 吉 男 会 員 (静岡支部) 「ラッパ (浜松まつり)」
佳 作 佐 野 宜 良 会 員 (富士宮支部) 「夜明けの富士」

『役員等選考委員会』による会長選挙

役員等の任期満了に伴い、「平成23年度静岡県行政書士会定時総会第5号議案」に基づく会長選挙が行われました。

今年度から、選考委員会による選考過程は全会員に公開されることになり、選考委員の「行政書士証票及び会員証」の携帯確認による選考会場第1ゲート入場、「選考委員名簿」と本人確認による第2ゲート入場の様子から、各候補者の所信表明演説、その後の投票、

開票作業まで、全て会員の面前で実施されました。

投票の結果は以下のとおりです。

投票結果（投票総数83票）

岸本敏和候補 69票

堀内昭次候補 13票

無効票 1票

この結果に従い、岸本敏和会員が静岡県行政書士会会長に選出されました。



業務組織編成表

静岡県行政書士会業務組織運営規程第2条別表の規定による

(平成23年5月25日現在)

常任理事会	部名	部長	専門委員会名	理 事			委 員		
				委員長	グループ長	付け理事	東 部	中 部	西 部
岸本敏和 (西遠) 後藤博行 (三島) 神尾睦 (富士) 月見里和夫 (清水) 我妻和男 (静岡) 鈴木市代 (中遠) 平岡康弘 (西遠) 市川未男 (裾野) 岩瀬喜臣 (静岡) 五條義人 (島田) 中山正道 (掛川) 奥山浩行 (水窪) 日内地孝夫 (西遠) 60周年 会史編集 成年後見制度 A D R 著作権 組 織 再 編	総 務 部	奥山浩行 (水窪)	総 務 委 員 会	鈴木芳雄 (島田)	緒方博幸 (志太)	神木俊典 (熱海)	石井康一 (伊東)	古屋初男 (清水)	松浦清 (掛川)
			電子情報管理委員会	緒方博幸 (志太)		松澤民江 (西遠)	望月健次 (田方)	近藤玲子 (静岡)	山内大 (西遠)
	法務経理部	中山正道 (掛川)	経 理 委 員 会	竹内恒孝 (沼津)	庄司正 (三島)	長谷川清太 (静岡)			
			法 務 委 員 会	鈴木晃 (西遠)		本崎肇 (御殿場) 大塩博喜 (静岡) 松下勝美 (榛原)			
	広報企画部	岩瀬喜臣 (静岡)	広 報 委 員 会	中里龍彦 (沼津)		小池晴伸 (西遠)	杉本和也 (沼津)	中村吉克 (静岡) 長谷川泰子 (静岡)	川瀬強士 (中遠)
			企 画 開 発 委 員 会	土田哲 (田方)		土田哲 (田方)	渡邊俊彦 (三島)	西形新一 (志太)	青嶋雄次 (掛川)
	土木農地 運輸環境部	日内地孝夫 (西遠)	土 木 農 地 委 員 会	青島利光 (志太)		熊谷博幸 (中遠)	小野英則 (富士宮)	松浦富雄 (島田)	村松直治 (中遠)
			政・特令市担当			村木成爾 (西遠)	川口修 (沼津)	石切山通夫 (清水)	新井周一 (西遠)
			運 輸 環 境 委 員 会	佐野一憲 (富士宮)		上田真義 (伊東)	米原透 (沼津)	石津勇夫 (静岡)	竹田達紀 (西遠)
			環 境 係			八木みどり (静岡)	稲葉洋行 (三島)	山田雅弘 (静岡)	星野秀光 (西遠)
	建設法人 労 務 部	五條義人 (島田)	建 設 業 委 員 会	鈴木幹久 (中遠)		磯部文雄 (志太)	鈴木亨 (熱海) 丸山政人 (富士)	前田芳秀 (静岡) 梅原勤一 (志太)	増田和紀 (榛原) 桜井俊文 (中遠)
			法 人 労 務 委 員 会			池田眞明 (清水)	塩崎宏晃 (西遠)		
	風俗保健 国 際 部	市川未男 (裾野)	風 俗 保 健 委 員 会	黒田忍 (静岡)		土屋すえ子 (裾野)	横井博人 (富士)	滝浪喜十男 (静岡)	横井豪一 (西遠)
			渉外家事国際委員会	野口弘宣 (賀茂)		川田誠 (富士)	今井敦史 (沼津)	小山敦史 (志太)	高木正美 (西遠)
	◎鈴木副会長 月見里和夫副会長 平岡副会長 奥山部長 岩瀬部長 中山部長 市川部長								
	◎後藤副会長 神尾副会長 我妻副会長 岩瀬部長 日内地部長 五條部長 田中前部長								
	◎我妻副会長 神尾副会長 奥山部長 岩瀬部長								
	◎月見里副会長 我妻副会長 鈴木副会長 中山部長 市川部長								
	◎我妻副会長 神尾副会長 市川部長								
	◎我妻副会長 平岡副会長 奥山部長 中山部長 日内地部長 岩瀬部長 市川部長 五條部長 加藤前部長 田中前部長								
コンプライアンス部		平岡副会長(西遠)							

◎印は座長を表す

支部長・副支部長名簿

支 部 名	支 部 長	副 支 部 長						
賀 茂	深 澤 力	原 小奈美						
田 方	土 田 哲	塩 谷 保 和						
伊 東	藤 井 正 春	進 士 和 典						
熱 海	田 畑 浩	鈴 木 亨						
三 島	浅 田 昌 義	瀬 川 宏	山 本 恭 彦					
沼 津	市 原 誠	久 保 田 吉 光	杉 本 和 也	澤 山 一 宏				
御 殿 場	渡 邊 政 年	谷 口 民 衛	芹 澤 光 春					
裾 野	中 村 文 男	大 谷 信 昭	土 屋 秀 文					
富 士 宮	井 出 正 和	中 津 川 浩 淳	黒 崎 敦 仁					
富 士	高 本 良 一	飯 塚 晃	太 田 伊 彦					
清 水	伊 藤 雅 夫	原 田 重 紀	古 本 博 巳					
静 岡	高 林 和 子	大 川 潤 一	久 住 律 子	西 村 陽 子	諸 田 薫	前 田 芳 秀		
志 太	森 崎 健 志	緒 方 博 幸	田 中 め ぐ み	秋 山 ひ と み				
島 田	若 杉 利 枝	杉 本 武 史	提 坂 克 己					
榛 原	高 塚 伸	福 田 美 奈 子						
掛 川	大 石 悦 治	黒 田 知	石 川 勝 也					
中 遠	鈴 木 武	榎 本 博	安 田 正 晃					
水 窪	奥 山 浩 行	田 村 壽 彦						
西 遠	佐 田 雅 彦	内 山 亮	高 林 美 智 代	成 瀬 記 言	倉 田 清 人	長 谷 山 朗		

各委員会紹介

常任理事会



五條 岩瀬 市川 日内地 中山
平岡 後藤 我妻 岸本 奥山 鈴木 月見里 神尾

総務委員会



松浦 石井 古屋 神木
鈴木 (委員長) 奥山 (部長) 緒方

電子情報管理委員会



山内 近藤 松浦
緒方 (委員長) 奥山 (部長) 望月

経理委員会



長谷川 中山
(部長) 竹内
(委員長) 庄司

法務委員会



大塩 松下 本崎

鈴木
(委員長) 中山
(部長)

広報委員会



長谷川 中村 川瀬 杉本
岩瀬 中里 小池
(部長) (委員長)

企画開発委員会



青嶋 西形 渡邊
岩瀬 土田
(部長) (委員長)

土木農地委員会



青島(委員長)
川口 小野 新井 石切山 松浦
熊谷 日内地(部長) 村木 村松

運輸環境委員会



山田 石津 稲葉 星野 米原 竹田
八木 日内地
(部長) 佐野
(委員長) 上田

建設業委員会



鈴木(京) 丸山 前田 増田 梅原
鈴木(幹) 五條 磯部 桜井
(委員長) (部長)

法人労務委員会



池田 五條 塩崎
(部長)

風俗保健委員会



横井(博) 横井(豪) 滝浪
土屋 市川 黒田
(部長) (委員長)

渉外家事国際委員会



小山 今井 川田
野口 市川 高木
(委員長) (部長)

監 事



宇佐美 橋本 倉田

綱紀委員会



梶原 平岡 鈴木
小川 清水 伊藤

平成23年度日本行政書士会連合会定時総会 第31回 日本行政書士政治連盟定期大会

平成23年6月23日(休)・24日(金)東京都千代田区のザ・キャピタルホテル東急において、日行連定時総会並びに日政連定期大会が行われました。

今年度の定時総会では役員改選が行われ、選挙の結果、北山孝次氏が引き続き会長に就任されました。

選挙結果	北山孝次氏（大阪会）	118票
	相羽利子氏（新潟会）	80票
	無効票	7票



日行連定時総会において、総務大臣表彰表彰状授与式が行われ、本会からは次の会員が受賞されました。

掛川支部	堀内昭次会員
中遠支部	鈴木市代会員
静岡支部	我妻和男会員



お知らせ

7月13日(休)日本行政書士会連合会において理事会が開会され、本会の岸本会長が常任理事、併せて第1業務部部长に就任されました。

第1業務部は、建設・農地土木、運輸、警察・環境、社労税務経営の各業務を担当しています。
併せて次の役職も兼務されます。

- ・行政書士制度あり方検討委員会 委員
- ・法改正推進本部 委員
- ・中央研修所 部長
- ・OSS戦略会議 委員
- ・東日本大震災大規模災害対策本部 部員 以上

7月14日(休)15日(金)日本行政書士政治連盟において幹事会が開催され、静岡県行政書士政治連盟奥山会長が、国政情報特別委員長に就任されました。

この委員会は、政党、行政、隣接法律職等の機関から発せられる行政書士関連情報を集積し、日政連活動全体に機動的に活かしていくことを役割として活動しています。

なお本会会員が専門員に選任されましたらあらためてお知らせします。

平成23年度 静岡県行政書士会 ソフトボール・グラウンドゴルフ大会

平成23年度ソフトボール・グラウンドゴルフ大会が
6月4日大井川河川敷において開催されました。
今年度の大会は、東日本大震災復興支援チャリティー

大会として開催し、賞品の費用等を義援金に当てると
共に、総会とこの大会で販売したネーム入りポロシャ
ツの販売利益を全額義援金として寄金します。

ソフトボールの部

優 勝	西 遠 支 部
準優勝	清 水 支 部
3 位	中 遠 支 部
4 位	志 太 支 部

グラウンドゴルフの部

団 体 賞	
優 勝	島 田 支 部
準優勝	富 士 宮 支 部
3 位	榛 原 支 部

個 人 賞		
1 位	川 井 賀 雄	(志太支部)
2 位	松 下 俊 夫	(島田支部)
3 位	織 田 良 三	(富士宮支部)
3 位	浅 井 勝	(島田支部)
5 位	佐 野 竹 司	(富士宮支部)
5 位	望 月 貞 孝	(島田支部)
5 位	久保田 義 朗	(榛原支部)

ありがとうございました

【行政書士制度六十周年記念曲】

作詞 行政書士 羽佐田 こうじ
作曲 行政書士 松 本 こうき
編曲 宮 本 ゆき子

一 教えてくれて うれしいね
やさしく 親しく 聞いてくれる
私の心配 とけていく みんなの街の法律家
安心出来ますよ 行政書士さん
ほんとに、ほんとに ありがとう

二 文を作るの 苦手でね
親身に ていねいに 書いてくれる
私の希望 かなってく みんなの好きな法律家
おまかせしますよ 行政書士さん
ほんとに、ほんとに ありがとう

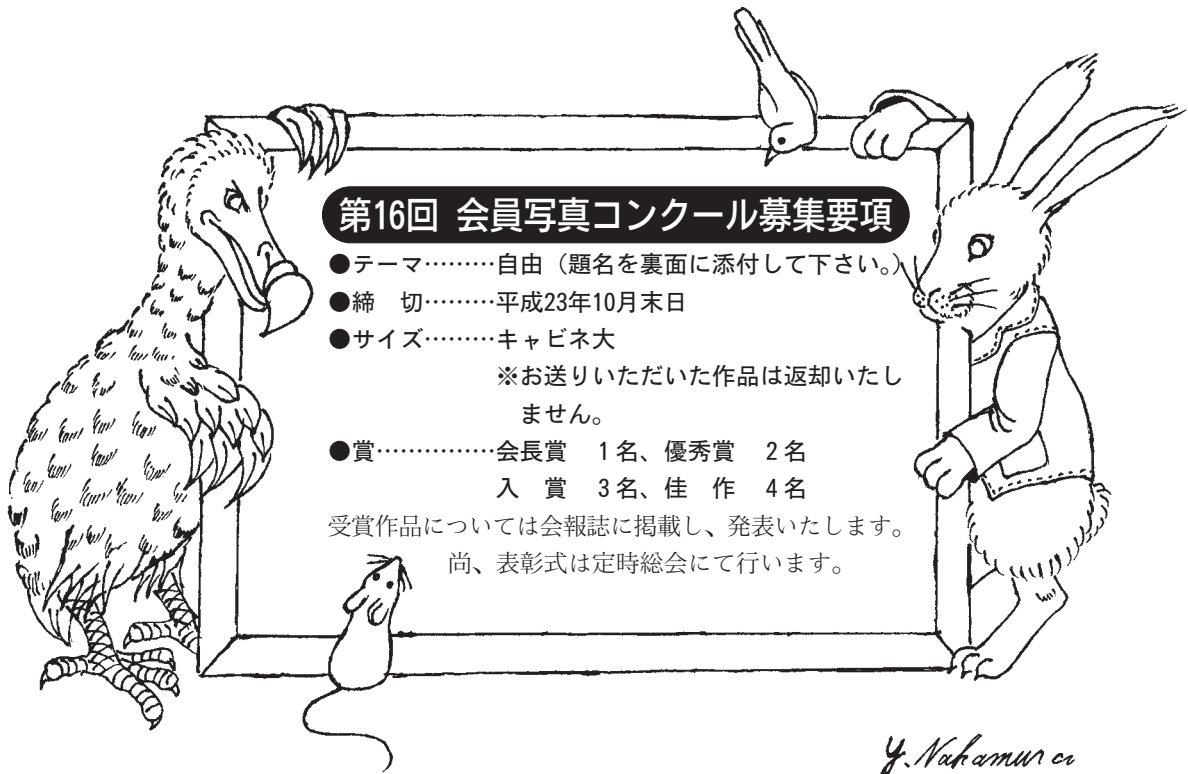
三 生きていくのは 大変ね
多くの 悩みも あるけれど
私の期待 そのままだに みんなの
大好きなんですよ 行政書士さん
ほんとに、ほんとに ありがとう

制作・著作 静岡県行政書士会 御殿場支部

平成23年度ソフトボール・グラウンド
ゴルフ大会で御殿場支部の皆さんにより披露されました。



掲 示 板



行政書士会事務局
夏期休暇のお知らせ

今年度の事務局の夏期休暇は
8月11日(木)・12日(金)・15日(月)
となります。宜しくご承知置き下さい。

川柳

平成廿三年五月六日 山本順平

花丸に
二人で歌う
帰り道



旅人を誘い込んでる花時計
周波数合わせぬ主人が黙り込む
結ばれた愛をとどめる古い椅子
シナリオは妻の一言で決められる
主の手を借りても跳べぬ水たまり
節高の指に苦勞がしゃべり出す
割勘で自慢話が疎外され



息子と2人で東京に遊びに行ってきました。1泊2日で「クーザ」鑑賞をメインに、博物館めぐり、買い物等々…。事前に調べた結果、地下鉄で2,3駅の

移動が多かったので、新宿に着いて早々にS u i c aを作りました（本当はモバイルS u i c aにしたかったのですが、息子と同じ形態にして改札を通る時にお手本を見せなければならぬため、泣く泣くカード式に）。とはいえ、実はピッとかざして改札を通るのは初体験。初めは緊張しながらでしたが、いざ使ってみると、切符を買う手間も省け、スムーズで、とても便利でした。また8月にも東京に行く予定があるし、イオンでもS u i c aを使えたような気がする、と、解約しないで帰って来ましたが…これって、静岡でチャージ出来るのでしょうか？まだまだ、勉強不足です。

訳あり商品

梅雨は嫌いだ…

気圧の変動が激しいこの時期は、持病の腰痛が辛い、、、だから、梅雨は嫌いだ…

細心の注意を払ってケアをしているのに、突然、無遠慮な雨が頭部へと降り注ぐ、、、

だから、梅雨は嫌いだ…

お気に入りの「らーめん大山」にて大麺を食していると、顔から流れ出た汗がスープに滴り落ちて塩味になってしまう、、、

だから、梅雨は嫌いだ…

“スーパークールビズ”などというメタボな醜い身体には似つかわしくない服装への衣替えの時期、、、

だから、梅雨は嫌いだ…

しかし、、、窓越しに梅雨空を眺めながら聴くイルカの“雨の物語”には、、、感動する…

宇宙人ショーンズ

先日、琵琶湖湖東の近江八幡に行く機会がありました。ご存知のように、豊臣秀吉の甥・秀次が開いた城下町ですが、楽市楽座により商工業が発展し、秀次移封による廃城後も、琵琶湖岸という地の利も生かした商業都市として繁栄し、天秤棒を担いで全国を行商する近江商人が発祥したとされる街です。大商人の本宅・本店が立ち並ぶ新町通りや八幡堀に面した土蔵群が往時を偲ばせてくれました。

現在、資料館にもなっている「旧西川家住宅」に家訓が残されていました。「先義後利栄・好富施其徳」・・・義を先に、利を後にすれば商いはおのずと栄える。富を得るのは好いが、それに見合った徳を施せ（社会貢献をしる）といった意味だとか。東電はじめ大企業の経営幹部の皆さんには、是非この精神でお願いしたいものです。

また、近江商人は、家を建てる時「人が観る外観は質素に、観えない内側は堅牢・豪華に」というのが思想だったそうで、何事によらず中味もないのに外側だけは見栄を張りたい小生ごときとは、お金の使いどころが違うようです。内面を磨かねば！と痛感しました。

酒呑老人

「川向う」（静岡市の市街地から見て安倍川の西側）に住んでおり、周りは田んぼやお茶畑だらけ、そのため街中に比べ気温が低く、特に夜原付で自宅に戻る時などは安倍川を渡るとその違いがはっきりと分かります。

我が故郷は山の中で不便なことも多いし、バスで広報委員会に出席するとバス賃が支給される交通費をオーバーしてしまいますが、この時期ばかりは「田舎に生まれてよかった～」とつくづく感じます。

居残り佐平治

広報誌発行にあたって

今年度は静岡県行政書士会の広報誌を実験的に発行することになりました。

これは、岸本会長の基本方針の一つであります「行政書士制度並びに行政書士業務の広報活動の強化」を実践するためにはどのようにすればよいかを広報委員会で検討した結果、まず一つの方法として広報誌を発行しようということになりました。

広報誌は、キャッチフレーズや業務案内を羅列する普通のパンフレットと異なり、行政書士制度や業務のことを少し詳しく案内した記事を読んでもらうことができます。

専門書や手引きのように詳しく解説するのではなく、世の中にはこんなことがあり、行政書士はこんなことを行なっているという記事を読んでもらうことによって“詳しいことは行政書士に聞いてみよう”と一般の方々に思ってもらえることを目的としました。

見てきれいであること、読み易いこと、多くの方が興味を持ち読んで得した気分になれる情報を掲載すること、を念頭に製作にあたりました。ですから表紙には静岡県行政書士会情報誌としました。広報誌ですと行政書士会の宣伝のためだけのものかと勘違いされと思ったからです。

広報誌の名前は、Beside（ビサイド）、意味は「～のそばに」「～の近くに」です。

「我々行政書士が皆さんの側にいて支えます」という気持ちを込めて、岸本会長が考えてくださいました。このほかに複数の候補がありましたが、商標登録されていたり、他の情報誌の名前として使われていたりしてなかなか決められず苦勞しました。

もう一つ苦勞したのが表紙の撮影です。国宝になった久能山東照宮を皆さんに是非紹介したいと、写真が趣味の中里広報委員長が1,159段の石段を登って一人で撮影してきてくれました。

知られていない情報誌を、とにかく一般の方の手にとっていただき、ページを開いてもらうためには、まず表紙の写真がきれいであること、それに続くページの写真を見ごたえあるものにすること、これを大命題に撮影に取り掛かりました。なかなかの表紙ができた委員長はじめ一同自画自賛しております。

広報誌は、まず会員の皆さまに1冊ずつ配布させていただきます。事務所にみえたお客様に読んでいただくとか、お知り合いの方に差し上げていただければと思います。それと会報と一緒に県並びに各市町に配布させていただきます。

次に各支部が行なう通常の無料相談会の際に一般の方に配布していただけるよう支部の皆様をお願いしていきたいと思います。また10月の広報月間の際には、従来のクリアケースや便箋等のPRグッズに代えて広報誌1号、2号（9月発行予定）を配布してもらえよう準備しています。

今後、一般の方々に読んでもらうに耐えられる広報誌を継続して発行していくことができるようになれば、病院や銀行の待合室に置いていただけるようお願いしていくことも考えています。

広報委員会一同広報誌発行は初めての挑戦であり、戸惑いながら創刊に向け努力して参りました。これからも多くの方々に読んでいただける読み易く、中身が濃くて良質の広報誌が製作できますよう努力して参りますので、会員の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

広報企画部長 岩瀬喜臣

編集後記

会報誌「行政書士しずおか」の発行に加え、行政書士制度及び行政書士の業務内容を世間に広める目的で広報誌「Beside」を発行することになりました。

「Beside」びさいど

岸本会長の提案により命名しました。

語意は、キャッチフレーズ「あなたの側に行政書士」です。

この創刊号は、広報委員会全員の熱い思いがこめられています。

宮沢賢治、岩手県の詩人で彼の誕生の年には三陸地震大津波と陸羽地震が起こり、没年には三陸沖地震が発生し大きな災害がもたらされ、震災と震災の間を生きた詩人です。

有名な「雨ニモマケズ 風ニモマケズ・・・」の詩は、作品として発表されたものではなく、亡くなる2年前に病床でこの詩を手帳に書き留めたそうです。

今、この誌が東日本大震災で亡くなられた方の追悼や、被災者を励まそうと世界各地で朗読されています。

静岡県行政書士会では、緑のリボン運動により被災地への支援を行っています。

東日本大震災による被災地の日も早い復興をお祈りします。

東日本大震災復興支援チャリティー

平成23年度静岡県行政書士会 ソフトボール・グラウンドゴルフ大会

平成23年 6 月 4 日大井川河川敷に於いて



静岡県行政書士会平成23年度会務日程表

摘 要	23年4月	23年5月	23年6月	23年7月	23年8月	23年9月	23年10月	23年11月	23年12月	24年1月	24年2月	24年3月	24年4月	24年5月	24年6月
常任理事会・常任幹事会	6 13 水 水	11 水	8 水	6 水	3 水	7 水	5 水	2 水	7 水	4 水	1 水	7 水	4 水	2 水	6 水
月例会入会者登録証交付	6 水	11 水	8 水	6 水	3 水	7 水	5 水	2 水	7 水	4 水	1 水	7 水	4 水	2 水	6 水
申請取次行政書士管理委員会	28 木	31 火													
新入会員特別講習会															
理事会・幹事会	13 水	25 水				9 金				13 金					
支部長協議会			30 木			16金又は22木				13 金		16 金			
監査会	18 月						14 金			13 金			18 水		
総会		20 金												25 金	9 土
ソフトラボール大会		13 金(相馬君)	4 土												
行政書士試験			報告会 9木	15金 試験後 責任者会議			試験説明会	13 日							
日行連・日政連			総会23~24 木・金												
官庁訪問															
顧問議員懇談会										13 金					
新年賀詞交歓会															
60周年記念式典事業															
綱紀委員会		25 水					22 土				3 金				
総務委員会		13 金	15 水	20 水	17 水	21 水	19 水	9 水	21 水	18 水	15 水	21 水	18 水	16 水	20 水
電子情報管理委員会	18 月	25 水	16 木		18 木		20 木		15 木		16 木				
経理委員会	5 18 火 月	25 水	17 金		4 木	7 金	14 金		16 金		10 金		10 火		
法務委員会		25 水	17 金	22 金	19 金	30 金	21 金	18 金	16 金	20 金	17 金	23 金			
広報委員会	5小 12小 19小 火 火 火	25 水	25 水	1小 8小 金 金	12 26小 金 金	16小 30小 金 金	19 水	18 金	2小 16小 金 金	6小 19小 金 金	17 22 金 金	22 2小 15 金 水 金	6小 金	24 木	
企画開発委員会		25 水	22 水	22 金	21 木	21 水		24 木		26 木					
土木農地委員会		25 水	15小 30 水 木	19小 28 水 木	11小 25 木 木	15小 29 12(金) 水 水	20小 27 木 木	17(金) 木	14 水	19小 木	9小 木	6 火			
運輸係		25 水	13 22小 水 月	13(金) 水	3 水	7小 14 水 水	12(金) 水	9 水	14 水	18 水	9 木	14 水	28小 水		
通関係		25 水	13 22小 水 月	13(金) 水	24小 水	14(金) 水	12 水	9 水	14 水	18 水	9 木	14 水			
環境係		25 水	13 22小 水 月	13(金) 水	24小 水	14(金) 水	12 水	9 水	14 水	18 水	9 木	14 水			
建設委員会		25 31小 水 火	17 金	1 金	5(金) 19(金) 金 金	23(金) 24(金) 金 金	19 水	25(金) 金	16 金	20 金	22 金	2小 9(金) 金			
法人労務委員会		25 31小 水 火	17 金	1 金	5(金) 19(金) 金 金	23(金) 24(金) 金 金	19 水	25(金) 金	16 金	20 金	22 金	2小 9(金) 金			
風俗保健委員会		25 水	22 水	27 水		27 火	12 水	4 金	23(金) 火	11 水	8 水				
渉外客事国際委員会		25 水	22 水	27 水	24 水	27 火	12 水	4 金	23(金) 火	11 水	8 水				
コンプライアンス部		25 水													
組織再編検討作業部会		20 水													
経費精算等計画書作業部会															

発行 静岡県行政書士会 会長 岸本敏和 編集 広報委員長 中里龍彦

〒420-0856 静岡市葵区駿府町2番113号 TEL054-254-3003・254-3005 FAX054-254-9368

印刷 池田屋印刷株式会社 〒422-8058 静岡市駿河区中原746番の1 TEL054-285-8275 FAX054-284-2846